PRESS RELEASE
2016 / 06 / 01

# NEW VISION SAITAMA 5
# 迫り出す身体

## 2016年9月17日—11月14日
## 埼玉県立近代美術館

**開催情報**

| | |
|---|---|
| 会期 | 平成28年9月17日（土）～11月14日（月・県民の日）<br>休館日・月曜日（9/19、10/10、11/14は開館） |
| 開館時間 | 午前10時～午後5時30分（入場は閉館の30分前まで） |
| 観覧料 | 一般1100円（880円）、大高生880円（710円）<br>（　）内は団体20名以上の料金<br>※中学生以下、障害者手帳をご提示の方（付き添いの方1名を含む）は無料です。<br>※併せてMOMASコレクション（1F展示室）もご覧いただけます。 |
| 主催 | 埼玉県立近代美術館 |
| 共催 | さいたま市 |
| 協力 | ＪＲ東日本大宮支社、ＦＭ ＮＡＣＫ５ |

会場案内／アクセス

埼玉県立近代美術館　〒330-0061 さいたま市浦和区常盤9-30-1　電話 048-824-0111
JR京浜東北線北浦和駅西口から徒歩3分（北浦和公園内）。東京方面からは大宮行きをご利用ください。

## 開催趣旨

「ニュー・ヴィジョン・サイタマ」は、活躍中の埼玉県ゆかりのアーティストに焦点をあて、今日の美術動向をリサーチすることを目的に継続してきた展覧会です。5 年ぶり5 回目の開催となる今回は、「迫り出す身体」を副題とし、1980 年代生まれの新進気鋭のアーティスト 7 名の作品を通して、多様化する日本の現代アートの一断面を浮かび上がらせます。

情報化が高度に進展した今日、私たちの生活や意識もテクノロジーの進歩に合わせて大きく変容しています。手のひらの上の端末を通してあらゆる情報を摂取し、また発信できる時代において、直接の体験から何かを実感する、あるいは、温もりや重さといったなまの感覚を通して世界を理解することへの欲求は増しているはずです。本展に参加する 7 名のアーティストは、クールな情報として世界を認識するのではなく、各々に固有の身体を拠りどころとして眼前の世界に触れ、その経験や感覚を作品に昇華させている点に特徴があります。カンヴァスに線を引き色を乗せる、一本の材からかたちを彫りだす、自らの行為や身振りを映像にとどめ作品化する、原初的な写真技法を用いて不可視のものに実体を与える。それぞれの媒体と手法は異なりますが、その作品群は複雑さを増す世界の姿を自らの手の届く限り掬いあげようとする真摯な試みの証といえます。

この展覧会では、同時代を生きる若き表現者の制作を、本展のための新作を交えて紹介します。7 つの身体を経由してまだ見ぬ新たなイメージが立ち現われる現場を皆さまと共有できれば幸いです。

## 出品アーティスト（五十音順）

青木真莉子　AOKI Marico

　1985 年埼玉県蓮田市生まれ、東京都在住／映像・インスタレーション

小左誠一郎　OSA Seiichiro

　1985 年静岡県生まれ、埼玉県さいたま市在住／絵画

小畑多丘　OBATA Taku

　1980 年埼玉県所沢市生まれ、所沢市在住／彫刻

鈴木のぞみ　SUZUKI Nozomi

　1983 年埼玉県さいたま市生まれ、川口市在住／写真

高橋大輔　TAKAHASHI Daisuke

　1980 年埼玉県越谷市生まれ、小川町在住／絵画

中園孔二　NAKAZONO Koji

　1989 年神奈川県生まれ、2014-15 年埼玉県さいたま市に居住、2015 年没／絵画

二藤建人　NITO Kento

　1986 年埼玉県朝霞市生まれ、和光市在住／映像・インスタレーション